

中世のサムライヒーロー

# 楠公さんを 知ろう

最終回

## 楠木正成の魅力を探る

「正成を感じる奥河内の歴史」

これまで、昨年7月号では千早城の戦いから楠木正成の「信じる心」を、9月号では寄手塚・身方塚の伝承から「人を想う心」を、11月号では観心寺・伝大江時親邸跡から「学ぶ心」を、1月号では天野山金剛寺から「先見する心」を論じてきました。これらは私の考える正成の魅力です。みなさんはどのように感じましたか？

ぜひ、一度、ここ奥河内における正成ゆかりの地をゆつくりとめぐり、ご自身で様々な正成の魅力を発見してみてください。



千早城跡

赤坂城跡・楠木城跡とともに『太平記』に登場する。千早赤坂村の千早地区を見下ろす地に位置する。頂へと続く石段はなかなかの急勾配で、落城しなかったことにも納得。曲輪と呼ばれる平坦面（城の遺構）も残る。ここから金剛山へも登ることができる。



寄手塚

身方塚

千早赤坂村の森屋墓地に建つ2基の五輪塔。見比べて伝承に想いを馳せてみては。付近の赤坂城跡、下赤坂の棚田、楠公誕生地、資料館などとセットでの散策がオススメ。



観心寺 建掛塔

湊川で敗れたため、正成誓願の塔は初層だけの建掛塔となり残存。また、正成の首を祀った首塚も残る。

今なお、正成の「志」を感じるのは私だけか。体力に自信のある方は、正成のように、当寺から楠公通学橋を通り、伝大江時親邸跡を目指してみてください。花々の彩りも美しい。



天野山  
金剛寺

正成自筆の書状が残ると考えるだけで感慨深い。当寺を包み込む霊妙・静寂さがその感覚を一層引き立たせる。近年、平成大修理が無事に落慶を迎えられた。また、パワースポットの千年杉や天野山八十八ヶ所巡りなどもあり、力や癒やしに満たされる。桜の名所。

### コラム筆者インタビュー

## 楠公さんという地域資源を、ひらき、つないでいく——



阪南大学 国際観光学部  
和泉大樹 准教授

私は大学で「観光まちづくり」を教えています。各地で地域資源などを活用しながら、まちづくりや観光振興のための新たなデザインを思考し、地域の方々と共創的に実践しています。

地域資源は多くの人から大切にされ、理解され、まちへの愛着を生むような取り組みで活用されることが理想です。

多くの資源がある中で、「楠公さん」は地域を知るためのツールとして有効で、私も大好きなテーマです。このコラムは今回で終わりますが、大河ドラマを目指してい

る背景もふまえ、より多くの人に興味をもってもらえるよう、柔らかい内容を選んできました。

今後は、楠公さんの本来的な価値である歴史性を大事にしながら、自然や体験、食など、ターゲットやテーマをどれだけ広げていけるかがカギだと思います。市民や企業が自由に広げてくれるようになればいい。

そして、来訪需要の喚起や地域内を循環する仕組み、特産品の開発、宿泊施設の魅力向上などの取り組みの進展とともに、最終的には地域の観光収入の増加につながれば良いですね。